



peers

NEW NORMAL ACCELERATION

2026年9月期 第1四半期

決算説明資料

2026年2月13日

株式会社ピアズ

東証グロース市場(証券コード：7066)

1. 業績ハイライト

2. 第1四半期 決算ポイント

3. トピックス

4. 株主還元策

5. Appendix

連結売上高

16.81億円


前年同期比
+ 11.3%

連結営業利益

1.40億円


前年同期比
+ 35.0%

当期純利益

0.89億円


前年同期比
- 6.3%

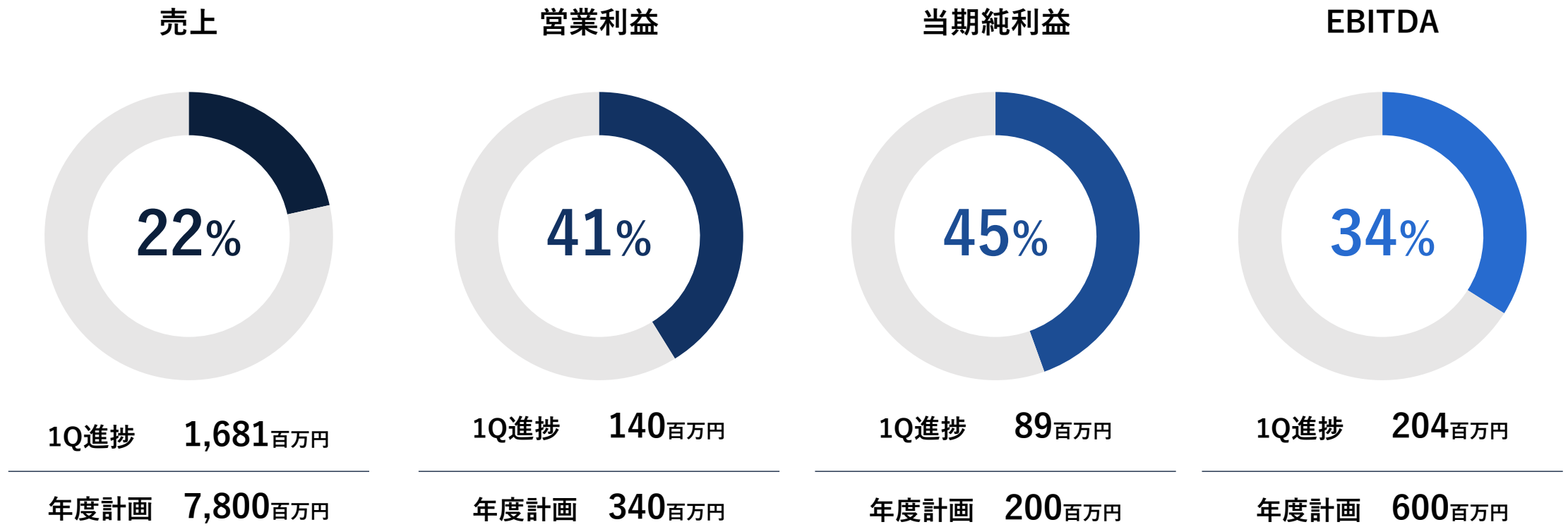
EBITDA

2.04億円


前年同期比
+ 42.2%

通期予想に対する進捗率

売上高は通期目標達成に向けて順調に推移。
 利益面においては、想定していた投資コストをコントロール出来ている事から高い進捗率となったが、
 第2四半期以降の投資・成長施策の進捗を見極めるため、現時点での通期予想は据え置く。



連結業績

- 既存事業の安定成長に加え、2025年8月に取得したbellFace事業の寄与により、売上高は前年同期比で11.3%成長。
- EBITDAは前年同期比で+42.2%成長し、安定的な営業キャッシュフローの確保を継続。
- 繰越欠損金の解消見込に伴う法人税等の増加により、当期純利益は前年同期比で微減。

(単位:百万円)	2025年9月期 第1四半期	2026年9月期 第1四半期	前年同期比
売上高	1,511	1,681	+ 11.3%
売上総利益	420	488	+ 16.1%
営業利益	104	140	+ 35.0%
経常利益	92	137	+ 48.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	94	89	− 6.3%
EBITDA	143	204	+ 42.2%

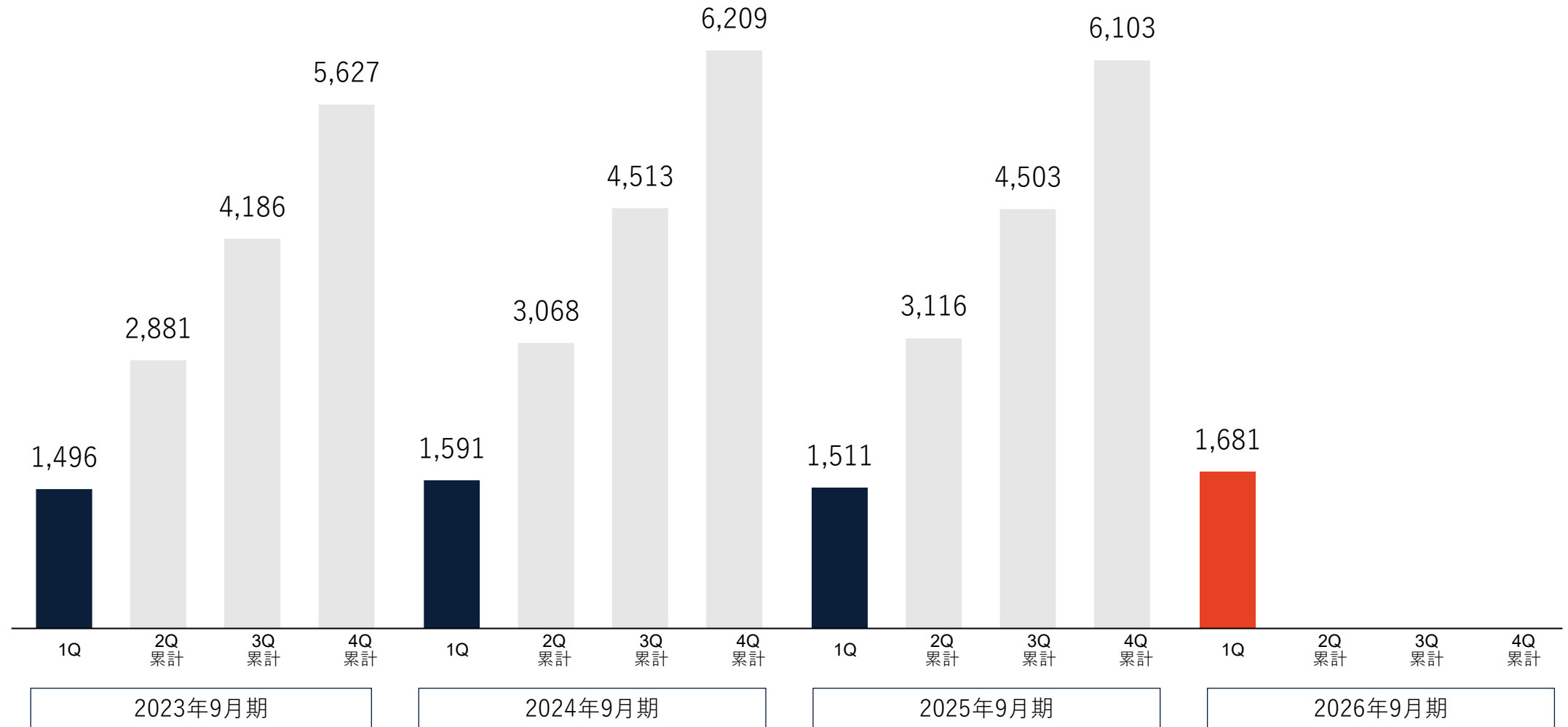
連結貸借対照表

- 2025年12月に実施された普通配当・記念配当により純資産が微減するものの、自己資本比率58.0%を維持。
- 健全な財務基盤を前提とし、第2四半期以降で行う次なる投資に備えて、引き続き事業利益拡大を継続。

(単位:百万円)	2025年9月末	2025年12月末	増減額
流動資産	2,821	3,086	+265
固定資産	1,634	1,572	-62
(うち、のれん)	668	624	-44
資産合計	4,456	4,658	+202
流動負債	1,281	1,590	+309
固定負債	415	364	-51
負債合計	1,697	1,954	+257
純資産合計	2,759	2,703	-56
負債純資産合計	4,456	4,658	+202
自己資本比率	61.9%	58.0%	-3.9pt

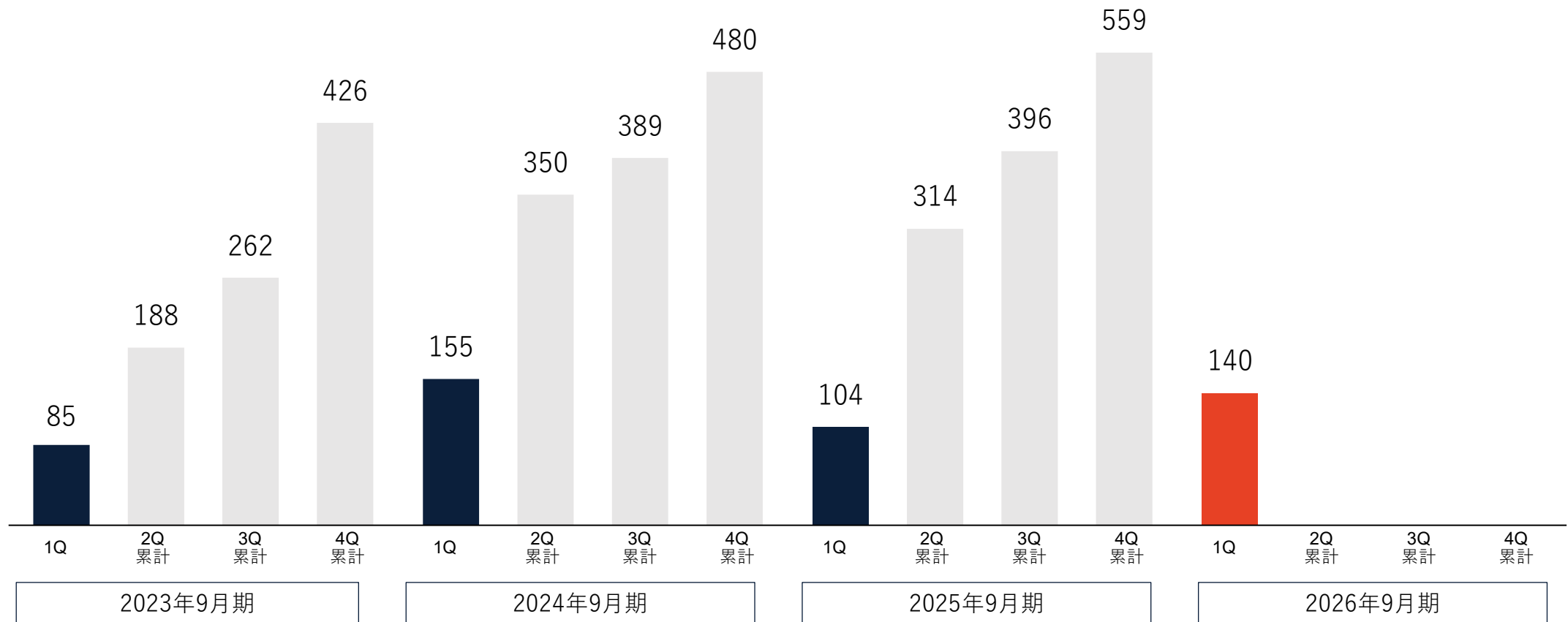
四半期別 売上高推移

- 第1四半期における過去最高値を更新。
- オンラインセールス事業の好調に加え、既存のプロモーション事業の安定成長により売上高は計画通りの着地。



四半期別 営業利益推移

- 売上高の成長が営業利益にも貢献し投資コストをコントロールできる体制を確立。
- オンラインセールス事業における開発体制の変更及び、効率的なM&Aにより、第1四半期における営業利益が改善。



1. 業績ハイライト
2. 第1四半期 決算ポイント
3. トピックス
4. 株主還元策
5. Appendix

POINT
01

オンラインセールスの成長による売上高増加

スピード感のあるPMIの実施

bellFace

新たに取得した顧客基盤を既存領域へつなげる3ステップ



- ①全顧客の60%に対してアプローチを実施済
- ②想定よりスムーズな進捗で既存サービス（研修・CS等）への還流体制を構築
- ③把握したニーズを既存サービス（研修・CS等）へ繋げ、新たな売上を創出

既存基盤の安定推移と微増

ONLINE+

基盤を崩すことなく、堅調なパフォーマンスを維持



- ・ 不動産
- ・ 通信
- ・ 保険
- ・ 薬局

「BPOパッケージ」の導入検討が加速
他業界における具体的な導入検討企業数が増加中

POINT
02

戦略に沿った売上総利益・営業利益の増加

コストの削減と最適化

第一四半期



bellFaceにおける開発体制の変更

内製化の推進と、運用システムの効率化を重視した結果、原価の削減を実現



効率的なM&Aを実現

業界ネットワークを活用したソーシングにより、コストを抑えたM&Aを実施。

※正式な契約締結は2026年1月16日



更なる売上高増加のための先行投資

第二四半期



成長投資の本格化

第一四半期に厳選してきたM&A案件と採用活動を計画通り積極的に実行。



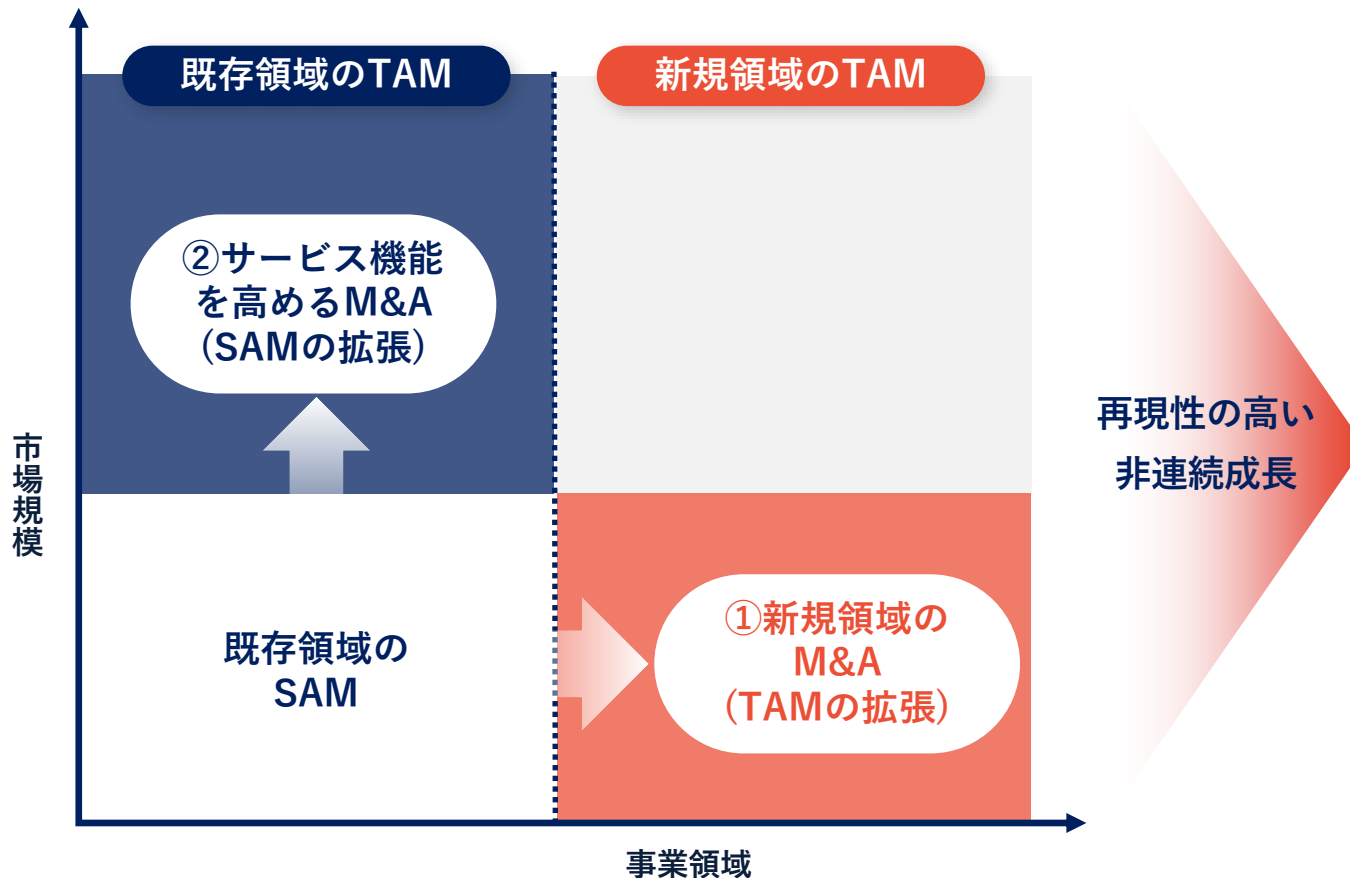
将来収益を見据えた先行投資

収益拡大に向けて短期的にはコストが先行。
健全な財務基盤のもと、計画的かつ攻めの投資を継続。

1. 業績ハイライト
2. 第1四半期 決算ポイント
3. **トピックス**
4. 株主還元策
5. Appendix

成長投資におけるトピックス：M&A

- 成長戦略の中心にM&Aを据え、非連続的な売上高成長を目指す。
- 通信領域を起点としたTAM拡張と、既存事業のシナジーによるSAM拡張を進め、ソーシング活動を継続的に強化。
- IT領域の事業基盤強化を目的に、自社ソーシングによるM&Aを実行。 ※正式な契約締結は2026年1月16日



IT領域における事業基盤の強化

SES事業（株式会社ウィズオノウェア）



多数の大手SIer企業との
直接取引を中心としたSES事業を展開

【シナジー】

取引顧客基盤の拡大による売上高の向上

1. 業績ハイライト
2. 第1四半期 決算ポイント
3. トピックス
- 4. 株主還元策**
5. Appendix

株主還元策 ー 配当性向

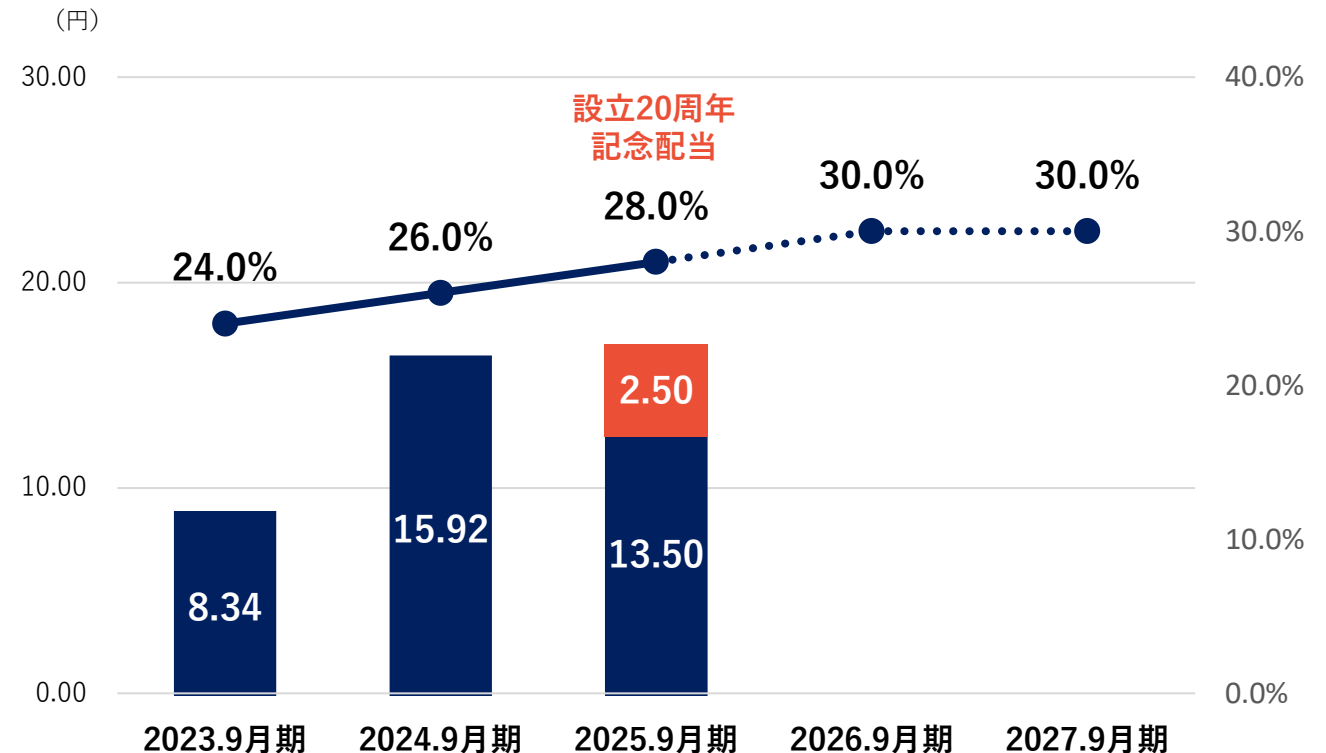
安定した利益成長を基盤に、今後も配当性向30%を目安に株主還元の拡充を進める方針。

株主還元方針

配当性向 30%

- ・ 企業成長と共に、配当による株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつと位置づけ
- ・ 配当による株主還元を基本とし、1株当たり配当金の維持・増加を目指す
- ・ 資金需要とのバランスを鑑みながら、自社株買いも検討

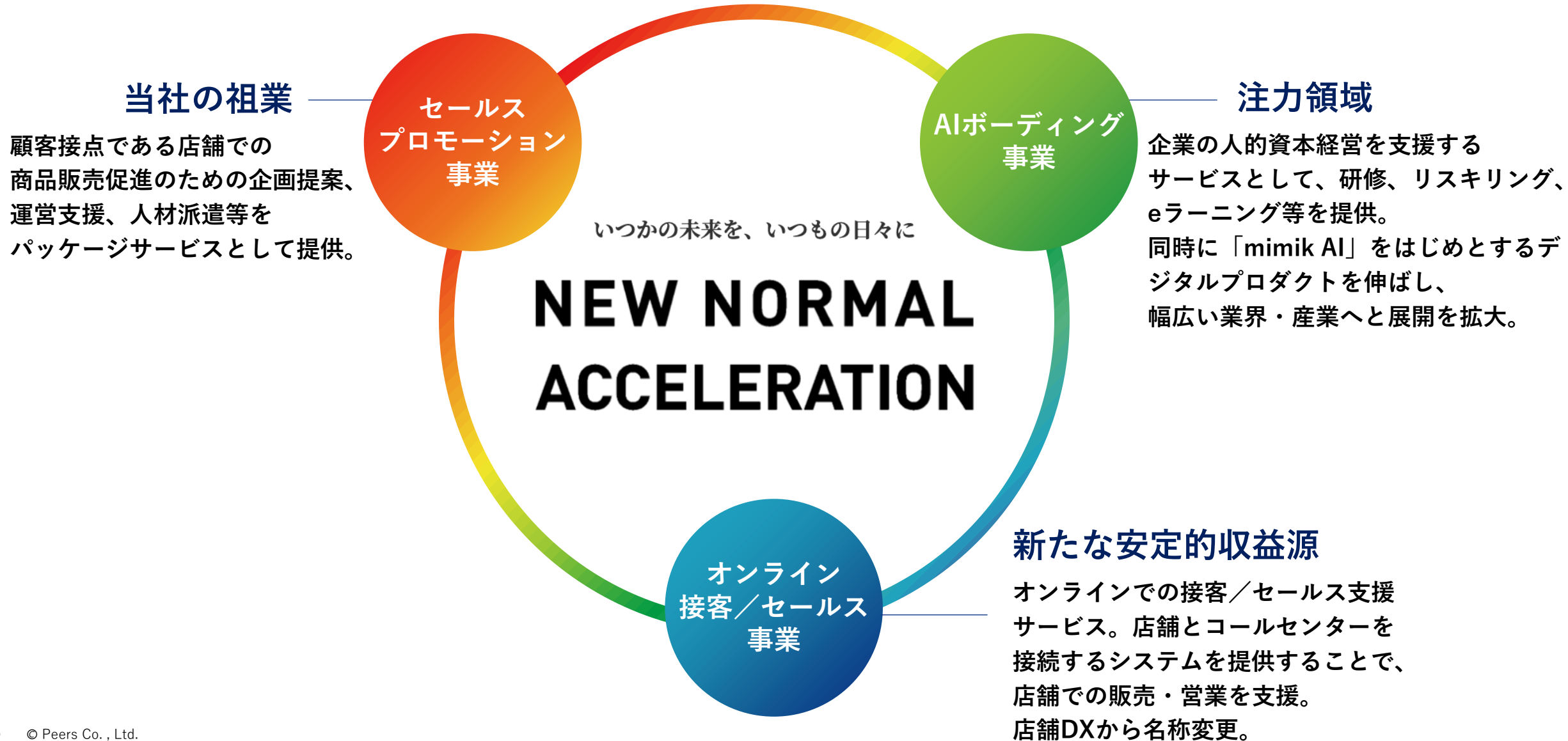
配当金・配当性向の推移



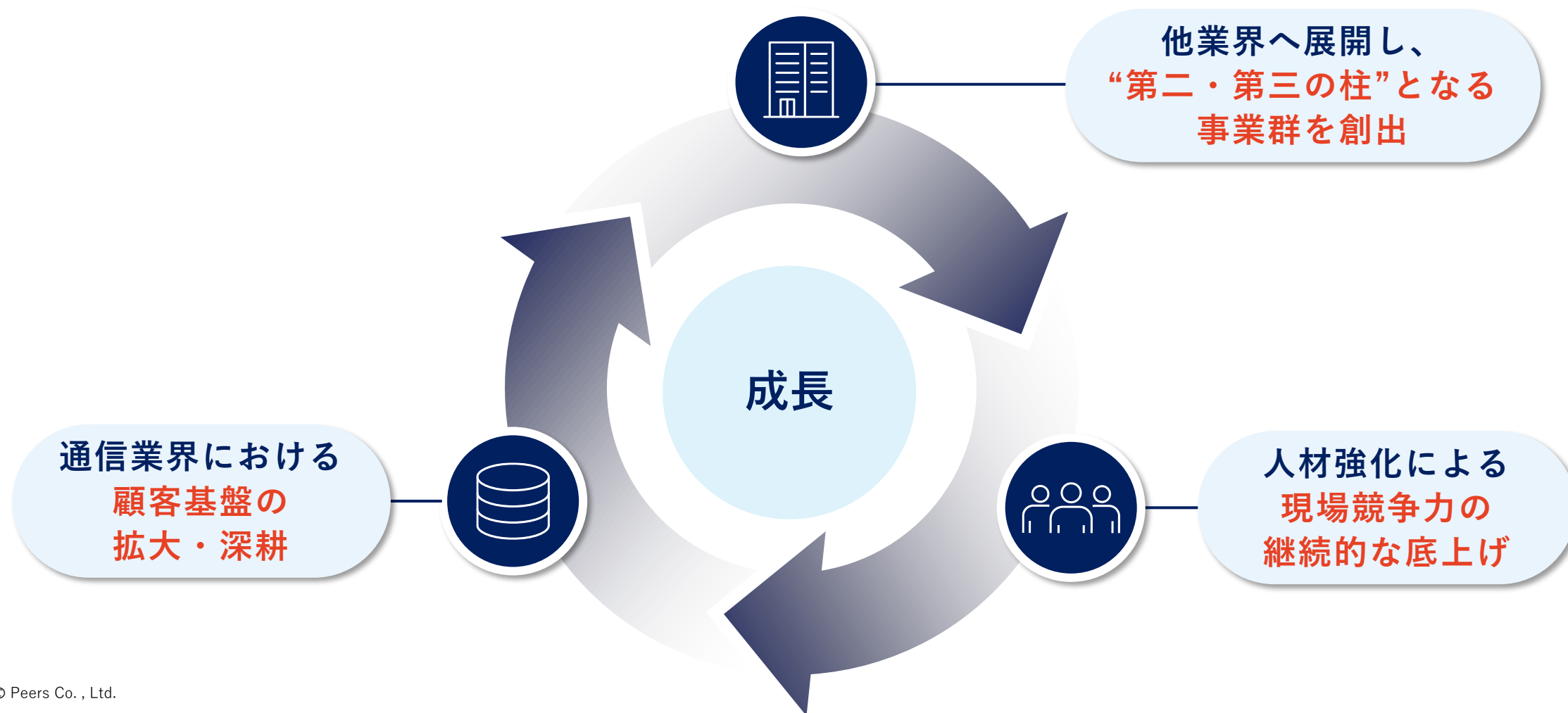
1. 業績ハイライト
2. 第1四半期 決算ポイント
3. トピックス
4. 株主還元策
5. **Appendix**



社名	株式会社ピアズ
事業開始	2005年1月
所在地	東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー15F
代表取締役	桑野 隆司
従業員数	483名 ※2025年9月時点、グループ会社を含む
上場市場	東証グロース 証券コード7066 (2019年6月20日上場)
資本金	78百万円 ※2025年9月末時点
グループ会社	株式会社Qualiagram 2Links株式会社 ベルフェイスシステム株式会社 AIOパートナーズ株式会社



人材強化と顧客基盤の深耕を進めるとともに、第二・第三の事業の柱を確立することで、更なる成長を実現する。



創業から21年を迎えました。

当社は、2019年6月20日に東京証券取引所マザーズ市場（現グロース市場）に上場しております。

日頃よりご支援いただいている皆さまのおかげで、
上場後も安定的な売上成長を継続するとともに、2025年9月期には過去最高益を達成。
財務安全性を兼ね備え、成長戦略の実現に向けた積極的な投資に踏み込める体制が整いました。

急激に変化していく市場環境にも恐れず、
これまで以上にアグレッシブな姿勢で、経営の変革と革新を進めていき、
非連続成長の実現に向け、強い覚悟をもって取り組んでまいります。

既存事業のさらなる拡大による足元の強化に加え、M&Aを通じた新規事業の創出・展開を行い、
グループ各社の強みを掛け合わせながら、社会から支持される企業であり続けます。

当社は、将来の飛躍を見据えた取り組みを進める中で、重要な局面を迎えております。
株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーの期待に応えるべく、
企業価値の向上に正面から向き合い、着実に成果を積み重ねてまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役 社長 桑野隆司



- 本資料に記載された将来情報等は、本資料作成時点における弊社の認識、意見、判断及び予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますのでご承知おき下さい。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。

IRに関するお問い合わせ

株式会社ピアズ 管理本部 IR担当

E-mail ir@peers.jp

URL <https://peers.jp/ir/contact>

いつかの未来を、いつもの日々に

NEW NORMAL ACCELERATION